

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称 令和8年度第2回美里町上下水道事業経営審議会

2 開催日時 令和8年9月24日（木）午前10時から午前11時7分まで

3 開催場所 美里町水道事業所2階会議室

4 会議に出席した者

（1）委員

会長 金子 浩一

副会長 菊池 文夫

委員 志田 文昭

委員 及川 みき子

（2）事務局

（水道事業所）

所長兼総務係長事務取扱 齋藤 寿

技術参事兼副所長 遠山 薫

主査 佐藤 千賀子

主事 小野 雅憲

（下水道課）

総務係長 青山 裕也

5 議題及び会議の公開・非公開の別

（1）議題

① 第3次美里町水道事業経営戦略（案）について

② その他

（2）会議の公開・非公開の別

公開

6 非公開の理由

該当なし

7 傍聴人の人数

0人

8 会議資料

- ・ 第3次美里町水道事業経営戦略（案）の概要

9 会議の概要

（1）議事録署名人及び書記について

議事録署名人は2人とし、1人は会長、もう1人は会長以外の委員の内から会議の都度選任する。書記については、事務局とする。

（2）第3次美里町水道事業経営戦略（案）について

計画案について適宜質疑応答し、おおむね妥当な計画案であると認められた。

（3）次回以降の会議の開催日程について

- ・ 次回、第3回審議会の日時等

令和8年10月29日（木）午後2時、美里町水道事業所2階会議室

（4）意見の詳細

別紙のとおり

【午前１０時 開会】

事務局 (佐藤主査)	<p>それでは、ただいまより、令和８年度第２回美里町上下水道事業経営審議会を開会いたします。</p> <p>本日、司会を務めさせていただきます美里町水道事業所の佐藤でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>審議会の開催にあたり、金子会長から委員の皆様に御挨拶申し上げます。</p>
会長（金子浩一）	<p>会長の金子です。本日は、お忙しいところ、委員の皆様お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日は、水道事業の経営戦略(案)に関して、記載内容や将来的な財政計画の具体的な説明をいただくことになります。疑問点等がありましたら、委員の皆様から御意見をいただきながら進めていければと思います。特に、将来どうしても予測が難しい人口の増減や費用の高騰もあります。また、自然災害で被害を受ける頻度も増しているように感じますので、不確実な部分もありますが、皆様の御意見をいただきながら答申まで進んでいければと思っています。</p> <p>本日も皆様の御協力をいただきながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
事務局 (佐藤主査)	<p>それでは、早速ではございますが、金子会長、議事の進行をお願いいたします。</p>
会長（金子浩一）	<p>それでは、議事に入る前に、「議事録の署名人及び書記の選任」をいたします。書記は事務局にお願いします。会議録の署名人については、前回、会長は固定として、もう一人をその他の委員の中から選任することとしておりました。</p> <p>前は、私と菊池副会長でした。本日は、名簿順で私と志田委員にお願いしたいと思っていますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(委員「はい」の声)</p> <p>お願いいたします。</p> <p>早速ですが審議事項に入りたいと思います。まずは、(１)水道事業経営戦略(案)についてになります。</p> <p>前回、計画(案)を配付いただいております。皆様のお手元にあるかと思います。本日、計画(案)の概要について追加の資料がありますので、事務局から説明をいただきたいと思います。</p>
事務局 (小野主事)	<p>(配付資料の説明)</p>

<p>会 長（金子浩一）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、水道事業経営戦略(案)について、事務局から説明をいただきました。</p> <p>情報量が多いので、まずは、計画本文、次に具体的な数字の確認として、別紙の1と3の経営比較指標、最後に、別紙2の投資・財政計画の3つに区分して確認して進めてまいりたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>（委員「はい」の声）</p> <p>ありがとうございます。今の順番に従いまして、はじめに計画本文については、構成が令和4年3月に策定された総務省の改定マニュアルに準じて作成されているようです。記載内容について質疑ありませんか。</p>
<p>委 員（志田文昭）</p>	<p>3ページの料金について、そもそも美里町の水道料金は高いのかなと感じております。近隣市町村と比べてどのような状況なのか教えていただきたいです。</p>
<p>事 務 局（齋藤所長）</p>	<p>美里町の水道料金は、県内だけでなく、全国的に見ても高い状況でございます。口径20ミリで20立方メートル使用した場合の1か月の料金でみると、本町は税込みで7,080円となっております。隣接する大崎市は、税込みで5,137円と本町よりも低い状況です。同じく涌谷町は、税込みで6,785円と本町よりも300円ほど低い状況です。</p> <p>両市町については、様々な会議等に出席した際にお話を聞くと、近々、料金改定を考えているとのことでした。</p> <p>本町では、令和元年10月に料金改定をさせていただいたことにより、次期計画(案)の投資・財政計画では、計画期間内において赤字にならない見込みであることから、料金改定を行う予定はございません。</p>
<p>委 員（志田文昭）</p>	<p>会長から冒頭に物価高についてお話しがありましたが、物価高なので美里町のみなさんにとって、料金はあまり上がらないほうがいいと思う一方で、経営状況などを見るとほかの市町村のように料金改定をするということも選択肢として持たなければいけないのかなと思います。</p>
<p>副 会 長（菊池文夫）</p>	<p>4ページの広域化・共同化について、これから先、人口減少が進む中で、広域化といった問題が出てくると思います。宮城県主導の下、関係市町村とともに水道広域化・共同化の検討を行っていますとありますが、その具体的な状況について教えてください。</p>
<p>事 務 局（齋藤所長）</p>	<p>宮城県が策定した宮城県水道広域化推進プランに基づき、県内の市町村が定期的に集まり会議を行ったり、宮城県の担当課の職員が各市町村の状況をヒアリングしたりするなど、各市町村の現状や考え方を確認し、今後の調整方法等を検討してる段階でございます。</p> <p>これまでの具体的な取組としては、人工衛星を活用した漏水調査やAIを活用し</p>

	<p>た管路の老朽化診断などの委託業務を県主導で各市町村が一緒に共同発注することによって費用を抑えるといった連携をしております。徐々に施設の共同利用などに繋げたいという県の意向もあり、このような共同発注などを行っているところです。</p> <p>今後は、施設の共同化や管理の一体化、さらには将来的に事業統合して1つの経営体となることが人口減少策には有効であるということが国からも示されており、県は各市町村のまとめ役となることが水道法にも定められているところがありますので、県と一緒にどのような枠組みで検討するかがこれからの取組となるところでございます。</p>
副 会 長 (菊 池 文 夫)	<p>1年、2年では結論が出ないとは思いますが、方向性としては県主導で進んでいくということですね。</p>
事 務 局 (齋 藤 所 長)	<p>1年、2年ではなかなか厳しい理由は、料金体系の差、資産、財政状況が異なるというところが問題となるためです。国では広域化を進めたいとの考えがありますので、広域化をするに当たっての補助金が徐々に充実してきております。財政的な部分が一番大きな壁になると思います。国からの財政支援を有効に活用しながら将来を見据えて広域化に取り組んでいかなければならないと考えております。</p>
委 員 (志 田 文 昭)	<p>今、菊池副会長からありました人口減少に関連して、8ページの水需要の推移です。美里町の総合計画の審議委員もやっていて人口の減少傾向により生活用水量の水需要が自然に減っていくことは分かるのですが、一方でその他用水量は一定の水準を保っている理由について教えてください。</p>
事 務 局 (小 野 主 事)	<p>その他用水量の内容は、業務・営業、工場、その他であり、町内の企業等において活動に必要な水量となっております。</p> <p>生活用水量のように人口減少に伴う傾向を把握することが難しいので、総務省の改定マニュアルに基づき、過去10年間の平均値により算出しているためでございます。</p>
事 務 局 (齋 藤 所 長)	<p>水道事業所としても水道を多く使用する企業等が町に新たに進出してくだされば、有収水量の増加も見込むことができます。人口が減少する分、企業等に多くの水を使用してもらえようになれば、非常にありがたいと考えているところであります。</p>
委 員 (志 田 文 昭)	<p>総合計画の中で、町への企業誘致というお話がありましたので、将来雇用を生み出すような企業さんが町内に集まって水を使っていれば水需要も増えるので、そのような期待もしております。</p> <p>続けてになりますが、14ページの収支計画のうち投資以外の経費についての説明で、それぞれの費用について冒頭に会長からお話しがありました物価高をどれくらい見込んでいるか、簡単でいいので確認させていただいてよろしいですか。</p>
事 務 局	<p>14ページの職員給与費につきましては、現在の職員の年齢構成が非常に高い</p>

(小野 主 事)	<p>ので、年間の給与額も高い状態ですが、平均昇給率は低くなっていることから、令和7年度から令和8年度までの昇給率0.41パーセントを人件費上昇分として見込んでおります。</p> <p>動力費につきましては、企業物価指数を用いて算出しております。</p> <p>修繕費と材料費につきましては、修繕費は主に配水管や給水管の修繕費を計上しているもので、突発的に発生したものに対して随時修繕していくことから定量で算出することが難しいため、令和2年度から令和6年度までの平均値で算出しております。材料費は必要になったときに購入していくものであることから定量で算出することが難しいため、令和2年度から令和6年度までの平均値で算出しております。</p> <p>委託料につきましては、主要な委託料とその他の委託料に分けて算出しております。主要な委託料としては、浄水場等運転管理業務や有収率向上対策業務などの委託料であり、令和6年度の決算において、委託料の86パーセントを占めております。これらの業務は5年間の契約をしているため、実績に基づき積算しております。その他の委託料は、年度によってあったりなかったりすることがあるため、令和2年度から令和6年度までの平均値に対し、人件費高騰分として勤労統計調査の増減率を用いて算出しております。</p> <p>受水費につきましては、現在の料金単価が令和10年度まで継続し、令和11年度から新たな単価になるのですが、今のところ料金改定についての情報がないので、現行の単価で算出しております。</p>
委員（志 田文昭）	<p>続いて、16ページになりますが、物価高のほかに金利上昇について、日銀がマイナス金利を解除して段階的に上げており、今後も続いていくと想定される中で、計画では令和8年1月の借入利率で算出しているようです。今後、金利上昇が続く可能性を踏まえてどのように考えているのか教えてください。</p>
事務局 （齋藤所 長）	<p>金利につきましては、上昇していく可能性が非常に高いと我々も考えておりますが、いつまで、どれくらい上昇するのかを推計するのは非常に難しいことから、計画を作成しておりました令和8年1月時点の利率によって算出しております。</p> <p>実際の経営においては、金利の動向を踏まえまして、利息の増加分も試算した上でそれを把握して、工事内容や工事量を見直し、計画の金額で収まるかどうか、経営に負担がかからないように再検討するなど、柔軟に対応していかなければいけないと考えております。</p> <p>今後5年先、10年先まで見通す中で、金利が必ずしも上がり続けるわけではない可能性があることから、計画作成時点での利率で算出しております。</p> <p>また、計画期間は10年間で計画を立てているところではございますが、5年経過した時点で再見直しを行うとしておりますので、その時点での金利の状況や動向を踏まえたうえで、必要に応じて計画を見直していきたいと考えております。</p>
委員（志	<p>正直、物価や金利の10年後を見通すのは難しいと思うので、5年で計画を再度</p>

田 文 昭)	見直して、柔軟な対応をしていくのがよろしいかなと思います。
会 長 (金 子 浩 一)	<p>計画本文ではかに質問はありませんか。</p> <p>(委員「はい」の声)</p> <p>それでは、次に別紙1「経営比較分析表」と別紙3「投資・財政計画に基づく経営指標の推移」について、質問ありますか。</p>
委 員 (志 田 文 昭)	冒頭で給水原価が弱みとして挙げられていたかと思いますが、グラフを見ると年々上がっているように見えているので、その説明をお願いします。
事 務 局 (齋 藤 所 長)	<p>給水原価は、有収水量1立方メートル当たりどのくらい費用がかかっているかを示す指標となっております。</p> <p>本町の状況といたしましては、人口減少により有収水量が年々減少していくのに対し、経費は年々上昇することから、給水原価は上昇してしまいます。</p> <p>この指標においては、料金改定をすれば解決できるという構造ではなく、給水原価を下げるためには、有収水量1立方メートル当たりどれだけ経費を削減できるかが重要となってきます。</p> <p>そのための対策としまして、計画(案)16ページ、17ページの今後検討する項目の中に、先ほど菊池副会長からもお話しがありました広域化・共同化のほかに施設規模の最適化、ウォーターPPP も含めた包括的民間委託等で民間活力を活用するなどの検討を行うことによって、経費を削減していくことを考えております。</p> <p>この部分は検討段階でありますので、投資・財政計画の数値には反映できていませんが、今後、検討を進め、うまく具体化・実現化できれば、その分費用を削減できる可能性はあると考えているところでございます。</p> <p>これらのことから、この指標を下げることは難しいのですが、今後、さらなる検討、努力をしてまいりたいと考えております。</p>
副 会 長 (菊 池 文 夫)	今の説明に関連して、水の官民連携(ウォーターPPP)のモデル都市選定を受けていることについて、その概要を教えてください。
事 務 局 (遠 山 技 術 参 事)	<p>今年度、水道事業と下水道事業併せて参加申請しました。国からの支援事業として採択を受けました。経費については、国が全額負担し、支援事業を行うものとなっております。</p> <p>初回の打ち合わせはすでに行っており、今年度の2月または3月になるかと思いますが、美里町の上水道と下水道がウォーターPPP を導入することが妥当か簡易的に判定をしていただく事業内容となっております。</p> <p>採択を受けたからといって必ずウォーターPPP を導入するわけではありません。</p>
副 会 長	ウォーターPPP の導入が妥当である場合は、有利な状況になるのですか。

(菊池文夫)	
事務局 (遠山技術参事)	この支援事業が採択されたからといってウォーターPPPの導入が採択されるわけではございません。国の担当職員からもその説明は受けております。導入が採択される可能性はありますが、支援事業の採択と導入の採択は、別の内容でございます。
委員(志田文昭)	ほかの自治体ですでに実施している例はありますか。
事務局 (遠山技術参事)	<p>代表的なのは、宮城県がコンセッション方式といいます、経営部分も含めて実施しております。近隣市町村だと、利府町では、経営部分までは委託せず、施設の管理を主とした更新支援型のウォーターPPPを実施しております。</p> <p>ただ、全国的にみると多くの自治体を実施しているわけではありません。企業側は、メリットがないと参入しにくいので、人口規模が大きいところでの参入が多く見受けられます。</p> <p>美里町のような人口2万人ほどの規模だと、ウォーターPPP導入については判断しかねるのが現状でございます。</p>
会長(金子浩一)	<p>別紙1、別紙3でほかに質問はありませんか。</p> <p>(委員「はい」の声)</p> <p>それでは、次に別紙2「投資・財政計画」について、質問ありますか。</p>
委員(志田文昭)	1枚目の収益的収入の営業外収益のその他と2枚目の資本的収入のその他の内容について教えてください。
事務局 (小野主事)	<p>収益的収入の営業外収益のその他につきましては、水道料金と下水道使用料を一緒に徴収していることから下水道使用料徴収業務受託料について計上しております。そのほかには、定期預金や債券運用による受取利息を計上しております。</p> <p>資本的収入のその他につきましては、分担金による収入を計上しております。メーターを新たに取り付ける場合や口径を13ミリから20ミリへ大きくするなどの場合に発生するもので、メーターを取り付ける際の工事に充てる費用としていただいている収入になります。</p>
副会長 (菊池文夫)	下水道使用料徴収業務について、下水道課では委託していることから費用に計上しているといった認識でよろしいですか。
事務局 (遠山技術参事)	お見込みのとおりです。

副 会 長 (菊 池 文 夫)	資本的収入の(A)のうち前年度同意等債で今年度収入分について、令和6年度に76,500千円計上されている理由について教えてください。
事 務 局 (小 野 主 事)	こちらは、令和5年度に未払金として計上した工事費用の財源となるもので、令和6年度に前年度に充当すべき企業債を収入したという意味です。会計上のルールに基づいた経理になります。
会 長 (金 子 浩 一)	別紙1、別紙3でほかに質問はありませんか。 (委員「はい」の声) それでは、最後に全体を振り返って、質問ありますか。 人口減少が予想されている中で、ダウンサイジングなど施設規模を縮小していくことも必要になるかと思いますが、見通しや工夫があれば教えてください。
事 務 局 (齋 藤 所 長)	人口減少に伴い水需要が減少していくことから施設の規模を見直すことによって、投資額や維持管理費を抑制していかなければいけないと考えております。 施設更新の際に、規模を縮小して最適化するダウンサイジングで、建設改良費を縮減することができますし、日々の維持管理施設が少なくなることで、将来の維持管理費の抑制にもつながっていくものですので、そのような工夫をしていきたいと考えております。 また、施設全体だけでなく、性能的な部分を落とすスペックダウンということも考えております。例えば、今年度行っている更新工事ですが、鳴瀬川から取水する際に使用しているポンプについて、既設のポンプ設置当時の人口よりも人口が減少しているので、更新する際は、口径を小さくするなど、ポンプの能力を落としています。そうすることで、動力費が下がりますし、大きさが小さい分維持管理費や修繕費も下がると見込んでおります。 このように、施設や設備を更新する際には、最適化を図り経費を抑制できるようにしていきたいと考えております。
会 長 (金 子 浩 一)	全体を振り返ってほかに質問はありませんか。 (委員「はい」の声) 本日は水道に係る戦略(案)について審議してまいりました。本日審議いたしました水道事業経営戦略(案)の可否について最終確認をしておきたいと思っております。 計画(案)では、水道水を安定供給できるよう計画期間を通じて独立採算(黒字経営)の維持、また、企業債残高の減少、流動資産の現金預金残高の増加など、中長期の財政健全化に配慮されたおおむね妥当な計画(案)と認められるかと思

	<p>います。</p> <p>委員の皆様、計画(案)については、可、とすることよろしいでしょうか。お諮りしたいと思います。</p> <p>(委員「はい」の声)</p> <p>次に、美里町の水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少や物価・エネルギーコストの高騰など極めて予断を許さない状況にあり、本計画の着実な執行とさらなる経営の健全化も必要と考えます。</p> <p>本審議会で出された質問、意見や確認した事項を踏まえて答申したいと思いますが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>(委員「はい」の声)</p> <p>では、次回は下水道事業経営戦略(案)の審議となります。その後の会議において水道・下水道の答申(案)の意見を調整してまいりたいと思いますので、事務局は会議録から意見の整理をお願いしたいと思います。</p> <p>では、以上で(1)の審議を終わりたいと思います。</p> <p>(2)のその他になります。まず、次回会議の日程について確認したいと思います。次回の審議内容は、下水道事業経営戦略(案)の審議となります。</p> <p>スケジュール(案)では、10月中旬から下旬としておりました。事務局から候補となる日程について説明をお願いいたします。</p>
事務局 (齋藤所長)	<p>事前に調整した結果、10月29日木曜日、午後2時からお願いしたいと考えてございます。</p>
会長(金子浩一)	<p>最後に委員の皆様から、何かございませんか。</p> <p>(委員「なし」の声)</p> <p>事務局から、何かございませんか。</p> <p>(事務局「なし」の声)</p> <p>皆様、御協力ありがとうございました。本日の議題は終了とし、進行を事務局へ戻します。</p>
事務局	<p>それでは、閉会に当たり、菊池副会長から御挨拶を頂戴します。</p>

上記会議内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

令和8年 10 月 29 日

会議録署名委員 金子 浩一

会議録署名委員 志田 文昭